

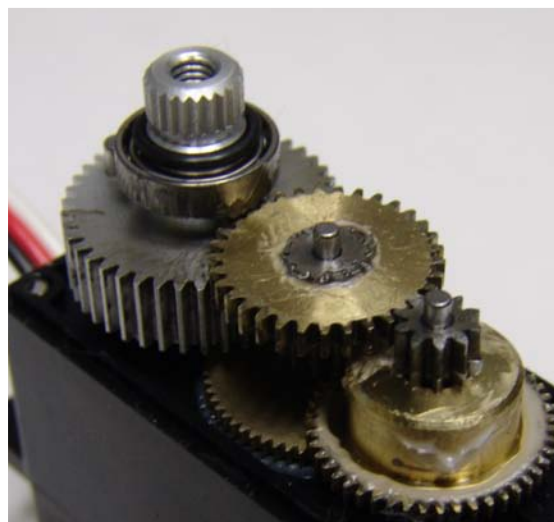
メタルブッシングアッパーケース使用時の注意



KRS-2350REDをはじめとした弊社サーボに使用するメタルブッシングアッパーケースですが、お客様の換装時に誤った組立て方をすると本来の性能を発揮できません。改めて換装時に注意すべき点を説明します。

まず、従来のアッパーケースを外します。ケースビス4本を外してから外しますが、その際にギヤシャフトがケース側についたままのことがあります。シャフトは、ステンレス製の硬いものですが、ケースから外す際に傷つけないようにしてください。

次に外したシャフトに付着したグリスはふき取ってください。シャフトにグリスが付着していることにより、軸受けとの勘合時に不都合を生じる場合があります。



ギヤに付着しているグリスは、本来白色のものを使用しています。可能でしたら、これもふき取って、シリコン系のグリスを新たに塗布するのが良いでしょう。

新たにメタルブッシングケースを取り付けますが、この際に軸受けやシャフトにグリスが付着していると、きちんと奥までシャフトが入らない場合があります。本来は軽圧入を行なうための寸法になっており、ここにグリスが付着すると軸受けを密封して内部に空気がたまり、ケースがきちんと閉めることが出来なくて、動作に不都合を生じる事があります。

最後にケースビスを締めますが、4本のビスを均等に締めていきます。また、締めすぎはケースの変形を招きますから注意してください。

